

平成19年度以降の山梨県立高等学校入学者選抜の概要について

全日制の入学者選抜は、「前期募集」、「後期募集」及び「再募集」とする。
各高等学校は「教育方針」、「志願してほしい生徒像」及び「前期募集選抜方法」を定め、受検生及び保護者に周知する。

「 」: 現行制度からの変更点

全日制前期募集

「前期募集」は、「中学校長の推薦を得た者とする」という従来の「推薦入学者選抜」から、希望する誰もが受検できる「自己推薦」に変更する。

【受検機会の複数化】

各高等学校は「前期募集選抜方法」の中の「出願の条件」で、具体的に基準を示し、スポーツ、文化等について優れた資質・実績を持った生徒を募集することができる。

【複数の評価尺度による選抜】【特色ある学校づくりの推進】

実施校

- 山梨県立高等学校全日制課程の全ての学科及びコースにおいて実施する。

募集人員

前期募集の募集人員は、募集定員のうち、次の から のそれぞれの範囲の中から各高等学校が定める。

【特色ある学校づくりの推進】

全日制普通科（コース及び単位制を含む。）については、募集定員の10%から30%の範囲とする。

専門教育学科については、募集定員の20%から40%の範囲とする。

職業に関する学科については、募集定員の30%から50%の範囲とする。

総合学科については、募集定員の20%から40%の範囲とする。

出願できる者

志望する動機や理由が明白・適切であり、各高等学校が定める「前期募集選抜方法」の中の「出願の条件」に適合すると自ら考える者

【受検機会の複数化】

検査

- 面接のほか、各高等学校が必要と認める場合は、作文、特技、個性表現のいずれか（複数可）を併せて実施することができる。

選抜方法

各高等学校が定める「前期募集選抜方法」の中の「選抜資料比重」に基づき、調査書、面接及び各高等学校が定める検査を総合して行う。

【複数の評価尺度による選抜】【特色ある学校づくりの推進】

全日制後期募集

「後期募集」は、基本的に従来の「一般入学者選抜」と同じ内容で実施する。

実施校

- ・ 山梨県立高等学校全日制課程の全ての学科及びコースにおいて実施する。

募集人員

- ・ 後期募集の募集人員は、募集定員から前期募集の入学許可内定者数を減じた数とする。

検査

- ・ 学力検査とする。
- ・ 検査教科は国語、社会、数学、理科及び英語の5教科とする。ただし、国語は中学校学習指導要領の「書くこと」の領域を、英語はリスニングによる検査を含む。

配点は、各検査教科100点とする。ただし、専門教育学科及び普通科のコース指定については、各高等学校が希望する場合は、検査教科の配点を1.2倍から2.0倍の範囲内で、変えて行うことができる。 【特色ある学校づくりの推進】

選抜方法

- ・ 各高等学校は、高等学校教育を受ける資質と能力を有する者を、調査書及び学力検査の成績を総合判定し、選抜する。
- ・ 判定に当たっては、調査書の記録と学力検査の成績を同等に扱う。

全日制再募集

「再募集」は従来と同様、募集定員に満たない場合に実施する。

実施校

- ・ 前期募集及び後期募集の結果、高等学校において、入学許可予定者が学科又は職業に関するコースの募集定員に満たない場合は、再募集を実施する。

検査

- ・ 面接及び作文又は学力検査を併せて実施する。